



低炭素社会の実現

BUILDING A LOW CARBON SOCIETY



中部電力グループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

再生可能エネルギーの拡大にむけて

2019年度実績

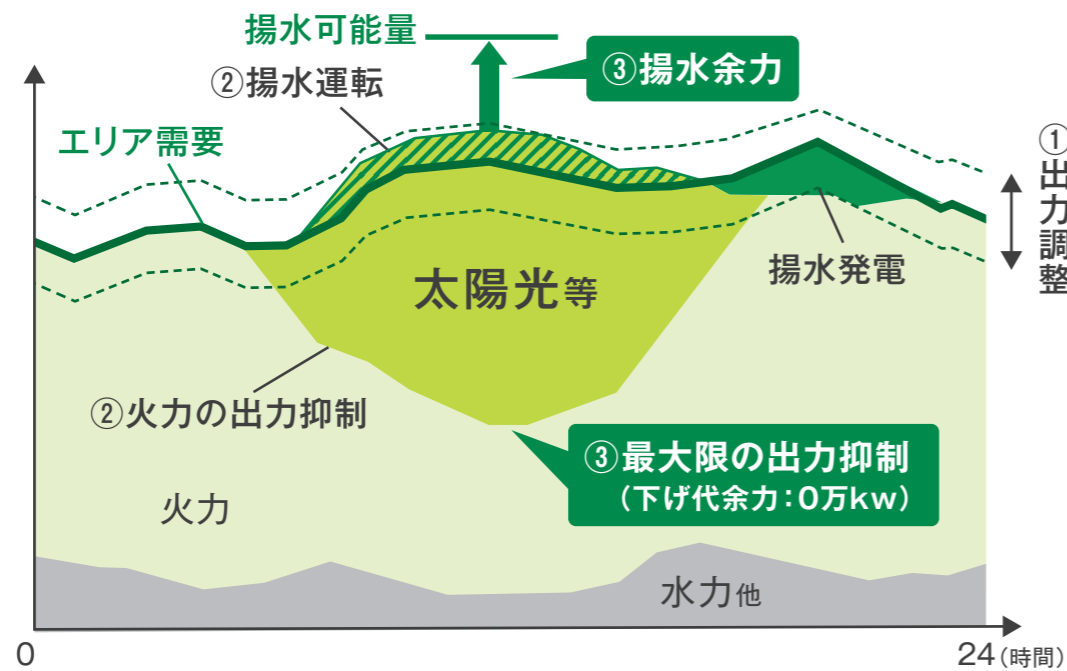
- 再生可能エネルギーの拡大が進む中においても、当社電力系統に接続している火力発電設備や揚水式発電機の出力量調整により、中部エリアの需要と供給の一致を図り、周波数を維持しております。

今後の取り組み

- 分散型電源の普及により複雑化する電気の流れを把握・調整するため、次世代配電機器の設置やICT等を利用した系統運用の高度化を図り、電力品質の確保と合理的な設備形成に努めるとともに、再エネ発電設備等の出力制御の高度化への対応を進めてまいります。

周波数調整のイメージ

- エリア需要や太陽光等の出力変動に対し、火力等を出力量調整することで、需要と供給の一致を図る(周波数維持)
- エリア需要に対して太陽光等の比率が高まるにつれ、火力の出力量抑制と揚水運転^{※1}の割合が増加
- 火力を最大限出力抑制したうえで、揚水余力が限界に達すると太陽光等の出力制御が必要



(※1) 揚水運転：揚水式発電所において上部調整池に水を汲み上げる運転

(※2) パワーコンディショナー：太陽光パネルで発電した電力を家庭で使用できる電力に変換する装置

再エネ導入拡大への対応(出力制御イメージ)

